

人々の集う場所 —喫茶店今昔—

写真・文 下門直人



学生からその教え子へ～「喫茶店ひとみ」

立命館大学衣笠キャンパスの傍らで42年前から開いている。「当時ここに通っていた学生が高校教師になって、その教え子がまた立命大生になってここに来てくれるのよ」と語る女将さん。



「学食」からひらかれたカフェへ～「HamacdeParadis」～

同志社大学寒梅館にはいるカフェ「アマーク・ド・パラディ」。
学生、教職員の学食から市民にひらかれたカフェへ。





同志社大学寒梅館（今出川キャンパス）



地域住民や観光客は学生たちに混ざってランチを楽しむ。

音楽好きを楽しませてきた名曲喫茶～「柳月堂」



戦前京都大学で学び、1954年に名曲喫茶「柳月堂」を創業した陳芳福さん。今は2代目の陳壮一さんが先代や常連さんの思いを大切にしながら跡を継いでいる。



オーナーこだわりのリスニングルーム。
巨大なスピーカーから奏でられる名曲を
聴きながら至福のときを過ごす。



京大生で賑わう出町柳にある柳月堂